

第2部

菊の会舞踊選集
「光に向かつて」

今昔物語・織姫・言葉より踊り・神のマリオネットほか

舞踊集団
菊の会公演

第1部

長唄「新」つとや
清元「流星」

光に向かつて



■チケット販売

舞踊集団 菊の会 Tel:03-5983-6001

流山市生涯学習センター Tel:04-7150-7474
チケットセンター

主催 舞踊集団 菊の会
共催 流山市生涯学習センター
指定管理者アクティオ株式会社
後援 流山市、松戸市教育委員会

【流山公演】

公演日 2012年3月24日(土)

開演 14:00/18:00 (各開場30分前)

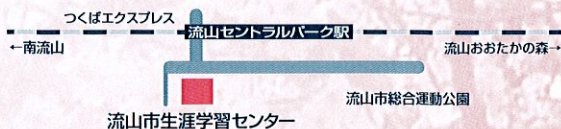
チケット料金 4,200円(全席自由)

会場 流山市生涯学習センター
つくばエクスプレス「流山セントラルパーク駅」下車徒歩2分

- 千葉、新松戸、三郷方面から
JR 武蔵野線「南流山駅」で「つくばエクスプレス」つくば方面に乗換
- 柏、野田方面から
東武野田線「流山おおたかの森駅」で「つくばエクスプレス」秋葉原方面に乗換



Japanese Dance
Tradition and Creativity
The
KIKUNOKAI



【舞踊集団 菊の会プロフィール】

菊の会は、日本のおどりが日本の大切な文化財産として、又、舞踊芸術として私達の身近に存在する事を願って1972年に創立者の畑道代によって設立。1976年には、文化庁主催の芸術祭において優秀賞を受賞。1986年には、海外公演の功績に対し、外務大臣より表彰を受ける。

1988年にはアカデミー賞特別名誉賞となった黒澤明監督の『夢』で畑道代が振付を担当、菊の会メンバーが出演、世界的に注目をあびた。1993年には、第14回松尾芸能賞舞踊特別賞を受賞。2001年文化庁アーツプラン21、(財)東京都歴史文化財団の助成によりニューヨーク・ロサンゼルス公演を開催。又、文化庁「国際芸術交流支援事業」により、2003年に台湾・シンガポール公演、2004年トルコ公演、2005年ドイツ・チェコ公演、2006年モロッコ・チュニジア・アルジェリア公演、2008年ブラジル公演。2010年2月メキシコ公演。同年10・11月にトルコ・オマーン公演。2011年3月にクウェート、11月には韓国で公演を開催し爆発的な好評を博した。

舞踊集団 菊の会公演「光に向かって」

【第1部】

■長 唄『新一つとや』

作詞——久保田万太郎
作曲——山田抄太郎
振付——尾上菊乃里

この作品は昭和二十三年にNHKの委嘱作品として出来たもので、従来ある曲を吹き寄せ的に使いながら久保田万太郎と山田抄太郎の息の合った洒落た作品は、今となっては得がたいものです。

まず、数え唄の最初は元日に始まり、万才の柱立、二つ目は相合傘の二人づれ、三は日光の三猿、四は吉原の賑やかなさわざから一転して地唄による「苦界」を表し、五は常におこる戦の様子を義太夫で語り、六は和尚と坊主、そして秋の実り、世の泰平を願い目出たく踊り納めます。

■清 元『流 星』

作詞——河竹黙阿弥
作曲——清元順三

安政六年(1859年)九月江戸市村座初演。

本来登場人物は牽牛と織姫そして流星の三人ですが、最近流星の一人立ちで踊る事も多くなりました。

牽牛と織姫が七夕の夜に逢瀬を楽しんでいる所へ流星が御注進、御注進とやって来て雷おやじが小唄の師匠の家に落ち、雲を失って帰れず居候する間に小唄をおぼえ、家に帰っても小唄がすぐに出て来て喧嘩の種となり、激しい夫婦喧嘩をするその様子を、流星が面白おかしく報告するという内容です。

【第2部】

■菊の会舞踊選集

『光に向かって』

私達の心に響く歌や音楽に共鳴したエネルギーが今、語りはじめる。

まさに舞踊は「二十一世紀の言葉」。

畑道代振付による作品集を御期待下さい。

行事名：舞踊集団 菊の会公演「光に向かって」

公演日：平成24年3月13日(火)

会場名：サンシティ越谷市民ホール(小ホール)

開演時間：14：30／18：30

チケット料金：指定席6,000円(当日6,500円)
自由席5,000円(当日5,500円)

行事名：舞踊集団 菊の会公演「今、船出の時」

公演日：平成24年4月6日(金)

会場名：八王子市学園都市センター12F

開演時間：14：30／18：30

チケット料金：4,200円(当日4,500円)